

(a)地すべり性変動の判定基準（最小値）

計測機器		定量的な判断基準	定性的な判断基準
伸縮計		0.5 mm/日	(1)観測値に経時的な累積性がある。
地中伸縮計		0.5 mm/日	
光波測距儀	固定式	5mm/回	(2)複数の計測機器で同様な変動を示す。
	移動式	10mm/回	
地盤傾斜計		10秒/7日	(3)降雨・融雪量に連動した累積変動が見られる。
パイプひずみ計		50~100 μ /7日	
地中傾斜計		1mm/10m/回	(4)観測によりすべり面が確認される。

(b)施工段階の管理基準値

計測区分と計測機器		対応区分	点検・要注意 または観測強化	対策の検討	警戒・応急対策	嚴重警戒 一時退避
伸縮計	地表面の変位速度		5mm以上/10日	5~50mm/5日	10~100mm/1日	100mm以上/1日
地中伸縮計						
光波測距儀						
挿入型地中傾斜計	すべり面付近の変位速度		1mm以上/10日	5~50mm/5日	-	-
パイプ歪計	累積値		100 μ 以上	1000~5000 μ	-	-

(c)維持管理段階の管理基準値

計測区分と計測機器		対応区分	点検・要注意 または観測強化	対策の検討	警戒・応急対策 通行止めの検討	嚴重警戒 通行止め
伸縮計	地表面の変位速度		10mm以上/30日	5~50mm/5日	10~100mm/1日	100mm以上/1日
地中伸縮計						
光波測距儀						
挿入型地中傾斜計	すべり面付近の変位速度		1mm以上/10日	5~50mm/5日	-	-
地盤傾斜計	累積値		10~50秒/10日	-	-	-